プログラム

第1日目：2026年11月14日（土）

13：20 ～　　開会式

第25回日本婦人科がん分子標的研究会　会長
井箆　一彦（和歌山県立医科大学　産科婦人科学講座）

13：30 ～ 14：20　オープニングランチョンセミナー1

「MMRステータスからみる内膜癌の病態と免疫微小環境 - 病理学的視点から -」
座長：織田　克利（東京大学大学院医学系研究科　医用生体工学講座　統合ゲノム学分野）
演者：三上　芳喜（熊本大学病院　病理診断科（病理部））

共催：アストラゼネカ株式会社

14：20 ～ 15：25　一般演題Ⅰ

座長：中山　健太郎（名古屋市立大学）

1. 子宮体癌におけるLOX-1を介した慢性炎症・脂質代謝異常による腫瘍増殖機構の検討
   中川　公平（兵庫医科大学　産科婦人科学講座）
2. CRISPRスクリーニングによる*KRAS*変異陽性卵巣癌の耐性機構と治療脆弱性の同定
   荒木　甫（名古屋大学大学院医学系研究科　産婦人科）
3. 子宮体癌におけるSLFN11発現と化学療法感受性の関連
   横田　貴子（金沢大学　産科婦人科）
4. 腟液由来細胞外小胞プロテオミクス解析による無侵襲子宮体癌バイオマーカー開発
   菱川　里沙（名古屋大学大学院医学系研究科　産婦人科）
5. 細胞質p53発現は進行高異型度漿液性卵巣癌の予後不良サブグループを同定する
   岩橋　尚幸（和歌山県立医科大学　産科婦人科学講座）

15：25 ～ 16：15　アフタヌーンセミナー

「子宮体がん治療の未来は切り拓かれたか」

座長：永瀬　智（山形大学医学部 産科婦人科学講座）

演者：馬場　長（岩手医科大学医学部 産婦人科学講座）

共催：エーザイ株式会社

16：20 ～ 17：25　「天神・菊池賞」候補演題

座長：吉原 弘祐（新潟大学）

6. DNA損傷応答を標的とした卵巣明細胞癌治療：
ゲムシタビン先行投与によるWEE1阻害薬併用療法の有効性
永井 紗恵子（東京大学医学部産婦人科学教室）

7. 空間トランスクリプトーム解析による子宮頸部胃型腺癌の予後不良規定因子の同定と機能解明
井上 寧々（名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科）

8. 染色体17番全体LOHは卵巣高異型度漿液性癌に普遍的なゲノム異常である
高松 士朗（近畿大学医学部 産婦人科学教室）

9. PSTTは宿主の遺伝子を組み込んで免疫逃避機構を獲得する
鏡 京介（金沢大学 産科婦人科）

10. 子宮体癌448例の全エクソンシーケンス解析：
copy number low群およびcopy number high群におけるゲノムの多様性
髙橋 宏太朗（新潟大学大学院医歯学総合研究科 産科婦人科）

17：30 ～ 18：30　イブニングセミナー

「卵巣癌の薬物療法 Up to Date」

座長：井箆 一彦（和歌山県立医科大学 産科婦人科学講座）

演者：松村 謙臣（近畿大学医学部 産科婦人科学教室）

共催：武田薬品工業株式会社

19：30 ～ 21：30　懇親会

天神・菊池賞表彰式

第２日目：2026年11月15日（日）

7：50 ～ 8：25　　理事会

8：30 ～ 9：35　　一般演題Ⅱ

座長：宮本　　強（信州大学）

11. 多角的トランスクリプトーム解析による子宮内膜症関連卵巣癌サブタイプの分子系譜の解明
　渡邉　修平（名古屋大学大学院医学系研究科　産婦人科学）

12. 卵巣明細胞癌におけるARID5Aの機能解析
　山本　早姫（北海道大学　産婦人科学教室）

13. 担癌に伴う好中球系造血亢進に対する運動の制御作用
　―脾臓髄外造血から全身性炎症への新たな機序―
　愛知　正裕（横浜市立大学附属病院）

14. 卵巣がん患者腹水から見出された新規治療戦略
　～ NAD^+産生阻害の有用性検証～
　工藤　敬（仙台医療センター　産婦人科）

15. RRBSを用いた胎児共存奇胎におけるGTN移行関連DNAメチル化の網羅的解析
　白﨑　茉莉（名古屋大学大学院医学系研究科　産婦人科学）

9：40 ～ 10：40　　スポンサード教育講演

「全ゲノム解析時代のがんゲノム医療
　―婦人科癌診療におけるプレシジョン・メディシンの展望―」

座長：万代　昌紀（京都大学医学部　婦人科学産科学教室）

演者：西尾　和人（近畿大学医学部　学部長 / ゲノム生物学教室　主任教授）

共催：中外製薬株式会社

10：40 ～ 11：45　一般演題Ⅲ

座長：安彦　郁（金沢大学）

16. 卵巣癌肉腫においてSMARCA4の欠失は上皮間葉転換を介して肉腫分化を誘導する
    片山 由大（九州大学病院 産科婦人科）

17. 卵巣癌悪性腹水に特徴的なtRNA由来small RNAの解析
    吉田 康将（名古屋大学医学部附属病院 産科婦人科）

18. 卵巣癌に対する*piggyBac*トランスポゾン法を用いたリガンド型EphB4 CAR-T細胞の抗腫瘍効果の検討
    藤岡 磨里奈（信州大学医学部産科婦人科学教室）

19. ポリアミン輸送阻害は腫瘍量を変化させずに卵巣癌悪性腹水を抑制する
    堀川 翔太（山形大学 産科婦人科学講座）

20. 卵巣癌4組織型横断的空間ニッチ解析による予後規定細胞プログラムの同定
    鈴木 公基（名古屋大学医学部 産婦人科）

11：45 ～ 12：50　一般演題Ⅳ

座長：矢幡 秀昭（九州大学）

21. 子宮体癌に対するプロゲスチン療法との併用における新規治療標的としてのMalic enzyme 1の可能性
    内山 夏紀（信州大学 産科婦人科学講座）

22. レンバチニブ・ペムブロリズマブ併用療法が奏効したG-CSF産生子宮体癌の分子生物学的特性の解析
    加戸 太陸（金沢大学附属病院 産婦人科）

23. 婦人科がんにおけるLSRを介した脂質代謝とフェロトーシス回避機構の解明
    赤田 将（大阪大学 産科学婦人科学講座）

24. 子宮頸癌における抗体薬物複合体治療のコンパニオンバイオマーカーとしての細胞外小胞由来組織因子活性
    山田 空明（名古屋大学大学院医学研究科 産婦人科学講座）

25. 空間プロテオミクス解析による局所進行子宮頸癌化学放射線同時療法におけるPD-1阻害の分子学的検証
    横井 暁（名古屋大学 医学部 産婦人科学）

12：50 ～ 13：40　ランチョンセミナー2

「実臨床に学ぶ婦人科癌治療 - キイトルーダとともに得た知見 -」

座長：梶山　広明（名古屋大学大学院医学系研究科　産婦人科学）

演者：新美　　薫（名古屋大学大学院医学系研究科　産婦人科学）

共催：MSD 株式会社

13：40 ～ 13：50　閉会式

井上賞表彰式

閉会の辞

第 25 回日本婦人科がん分子標的研究会　会長

井箆　一彦（和歌山県立医科大学　産科婦人科学講座）

次回会長挨拶

第 26 回日本婦人科がん分子標的研究会　会長

梶山　広明（名古屋大学大学院医学系研究科　産婦人科学）